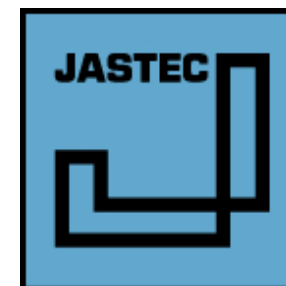


<http://www.jastec.co.jp>



株式会社 **ジャステック**

平成24年11月期  
期末決算に関する補足資料  
(証券コード 9717)

# 目次

<b>I. 会社の概要</b>	
I-1 事業内容と経営理念	..... P. 1
I-2 基本戦略	..... P. 2
<b>II. 業績ハイライト</b>	
II-1 連結	..... P. 4
II-2 当社	..... P. 5
II-3 海外	..... P. 6
II-4 セグメント	..... P. 7
II-5 連結財務諸表(要旨)	
II-5-1 連結貸借対照表(要旨)	..... P. 8
II-5-2 連結損益計算書(要旨)	..... P. 9
II-5-3 連結キャッシュフロー計算書(要旨)	..... P. 9
II-6 業績予想	..... P.10
<b>III. 詳細情報</b>	
III-1 当期の経営状況と業績	..... P.12
III-2 翌期以降の見通し	..... P.16
III-3 連結財務諸表	..... P.22



# I. 会社の概要

I-1 事業内容と経営理念 ..... P.1

I-2 基本戦略 ..... P.2



# I. 会社の概要

## I-1 事業内容と経営理念

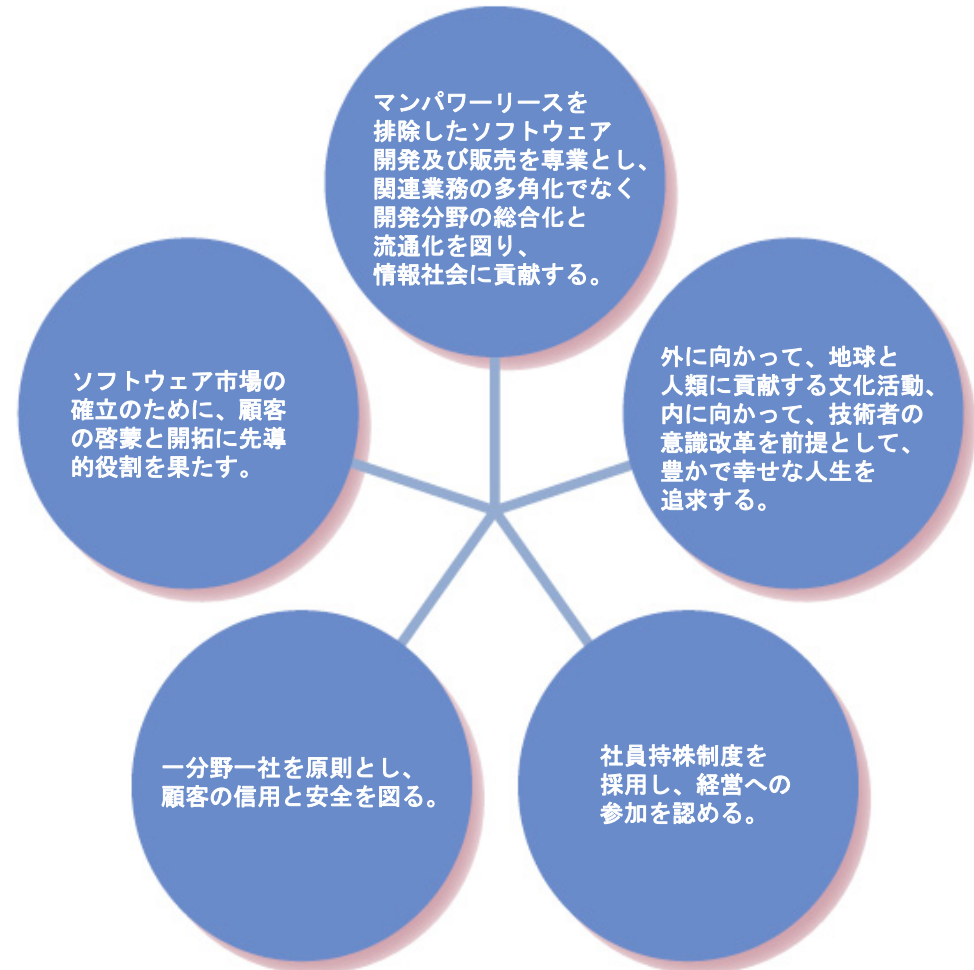
### 当社のキャラクター【柳小面】



この能面は、金春の座付きであった大蔵彌右衛門虎明(慶長七年の時六歳)の書いた「わらんべ草」  
「登髭」「金春小面と同じ作、同木にて打たる面也、今ノ金春小面ハ柳ナリ」とある小面のことと云われている。  
池田家伝来。

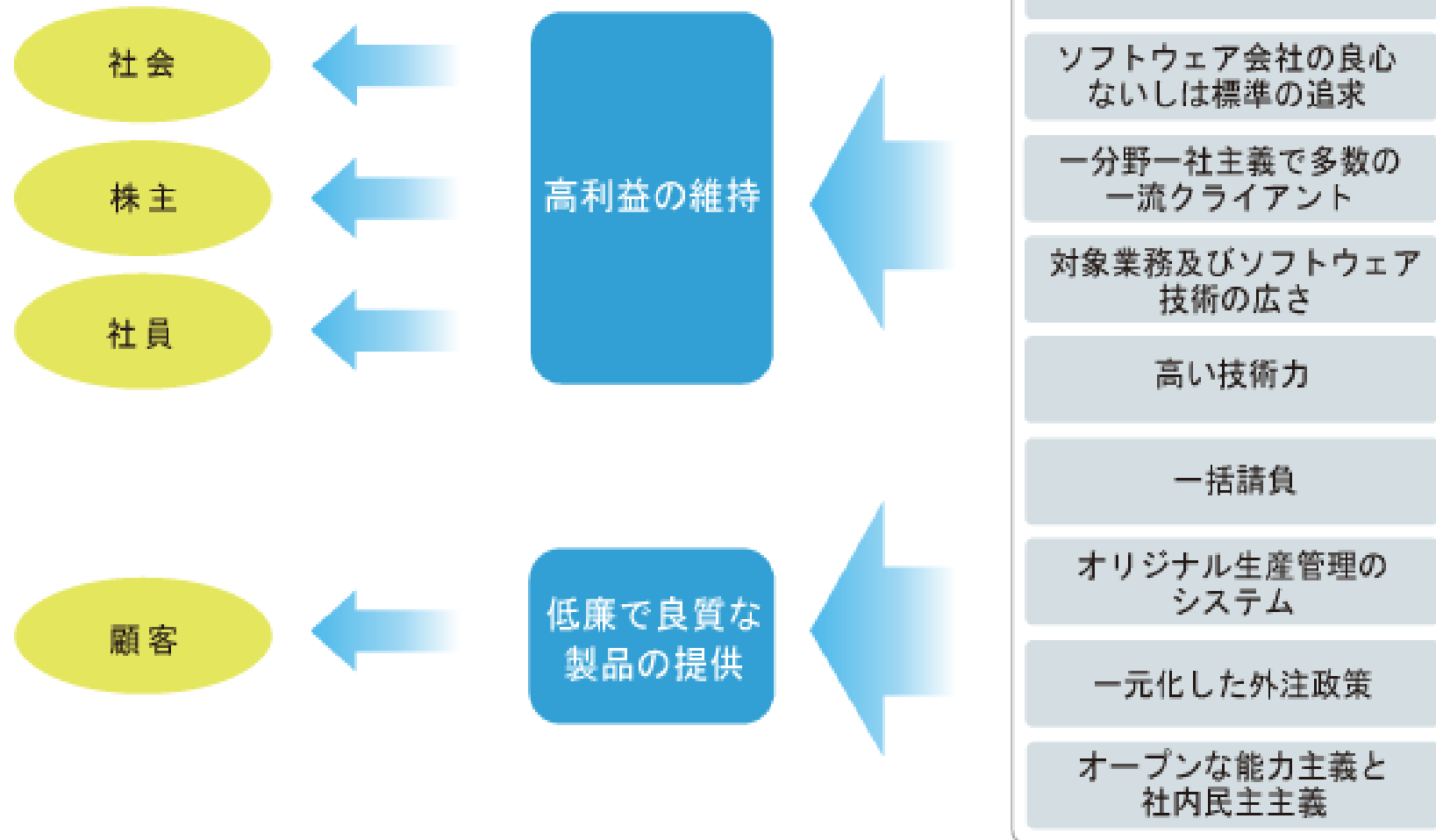
この能面を、演者で製品の提供者である(株)ジャステックと鑑賞者で製品の使用者であるお客様とを結ぶキャラクターとして採用しました。

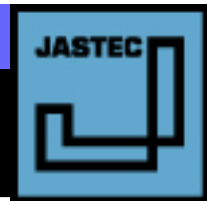
### 当社の経営理念



# I. 会社の概要

## I-2 基本戦略





## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

連結財務諸表

業績予想

Ⅱ-1 連結	.....	P. 4
Ⅱ-2 当社	.....	P. 5
Ⅱ-3 海外子会社	.....	P. 6
Ⅱ-4 セグメント	.....	P. 7
Ⅱ-5 連結財務諸表(要旨)		
Ⅱ-5-1 連結貸借対照表(要旨)	.....	P. 8
Ⅱ-5-2 連結損益計算書(要旨)	.....	P. 9
Ⅱ-5-3 連結キャッシュフロー計算書(要旨)	.....	P. 9
Ⅱ-6 業績予想	.....	P.10



## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

連結財務諸表

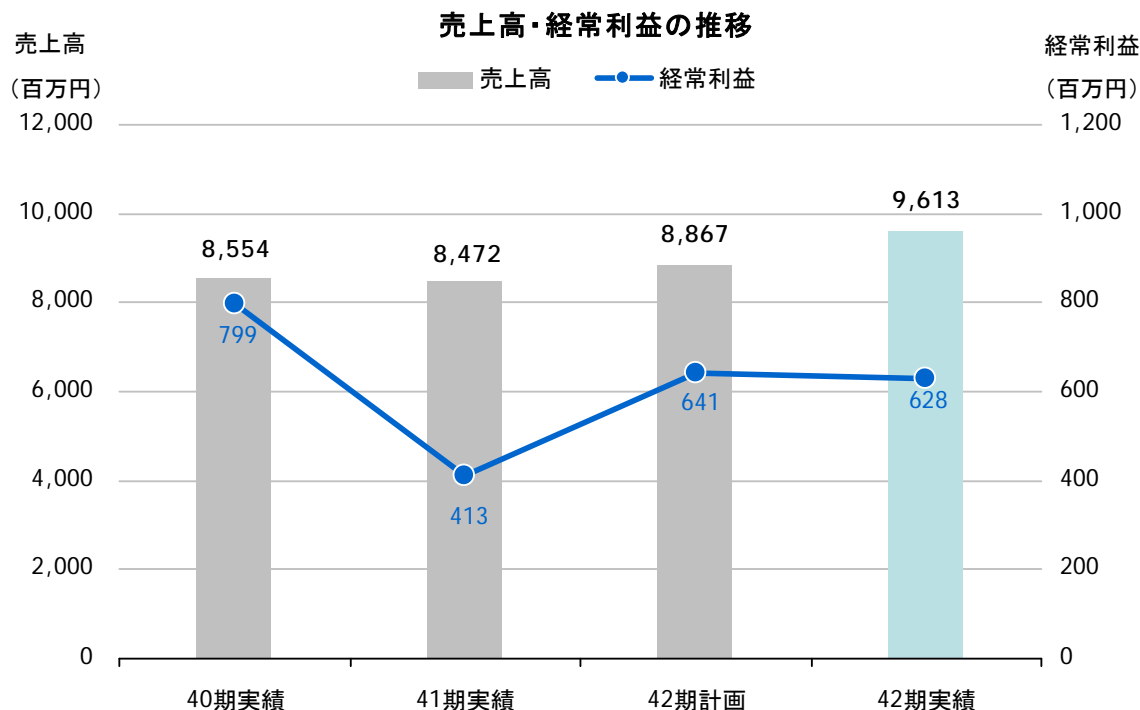
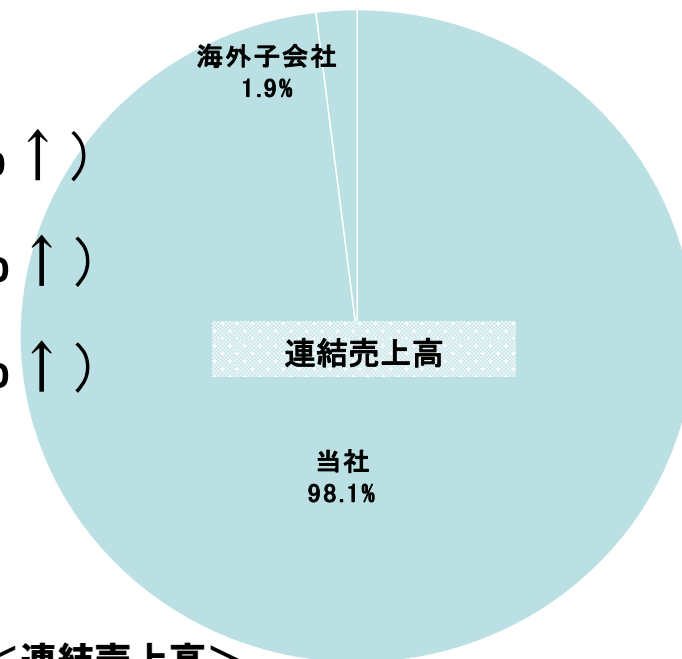
業績予想

### Ⅱ-1 連結

□ 連結売上高 : 9,613百万円 (前期比 +13.5% ↑)

□ 連結経常利益 : 628百万円 (前期比 +51.9% ↑)

□ 連結当期純利益 : 128百万円 (前期比 +65.0% ↑)



#### < 連結売上高 >

システム販売事業は横ばいだったものの、ソフトウェア開発事業における金融・保険業、建設業および運輸業向け案件の売上増により増加

#### < 連結経常利益 >

ソフトウェア開発事業における売上増ならびに販売費及び一般管理費の削減により増加

#### < 連結当期純利益 >

システム販売事業に属する関係会社が保有する固定資産の特別損失（減損損失）の計上があったが、連結売上高の増加などによる連結経常利益の増加で当該損失を補ったことにより増加

[詳細](#) P.12



# Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

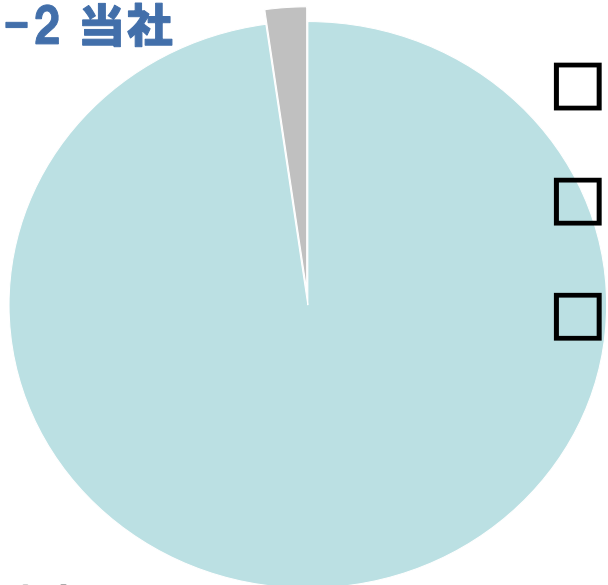
海外

セグメント

連結財務諸表

業績予想

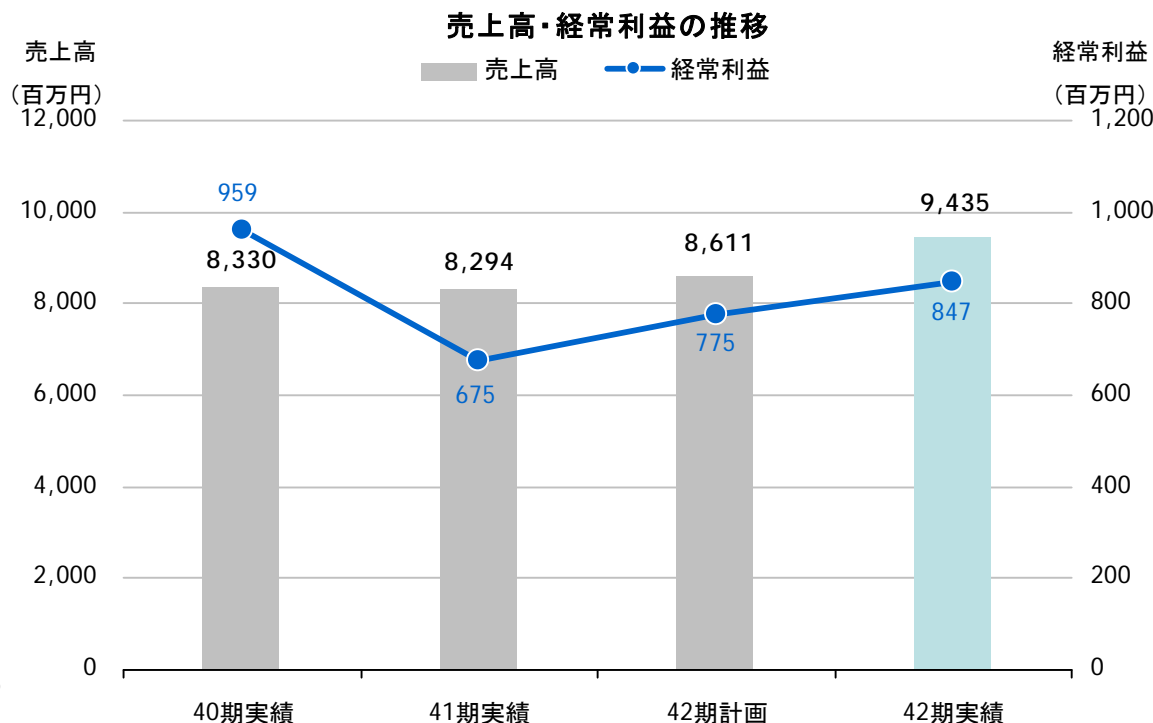
## Ⅱ-2 当社



□売上高 : 9,435百万円 (前期比 +13.8% ↑)

□経常利益 : 847百万円 (前期比 +25.5% ↑)

□当期純損失: △3,801百万円 (前期実績 339百万円)



### <売上高>

ソフトウェア開発事業における以下案件などの売上増により増加

- ①金融・保険業向けの基幹業務案件
- ②建設業向けの再構築案件
- ③運輸業向けの業務管理案件

### <経常利益>

ソフトウェア開発事業における売上増ならびに販売費及び一般管理費の削減により増加

### <当期純損失>

関係会社に係る株式評価損 (4,163百万円) および同社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 (61百万円) を特別損失として計上





## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

連結財務諸表

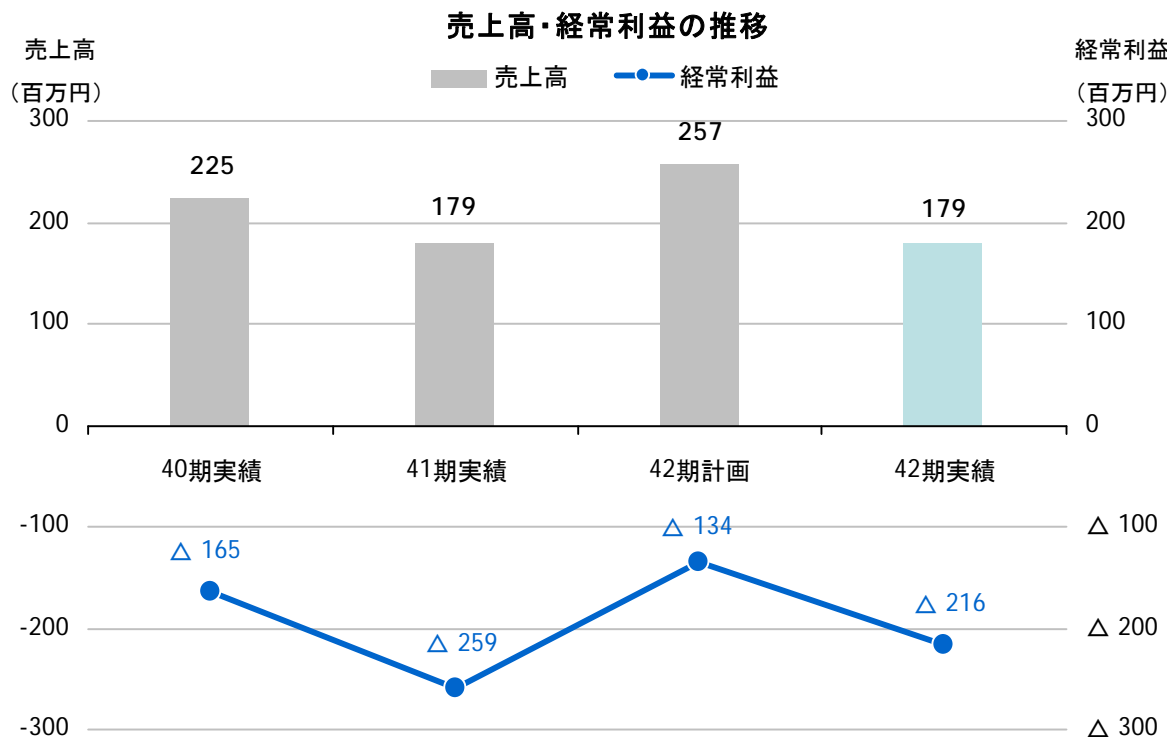
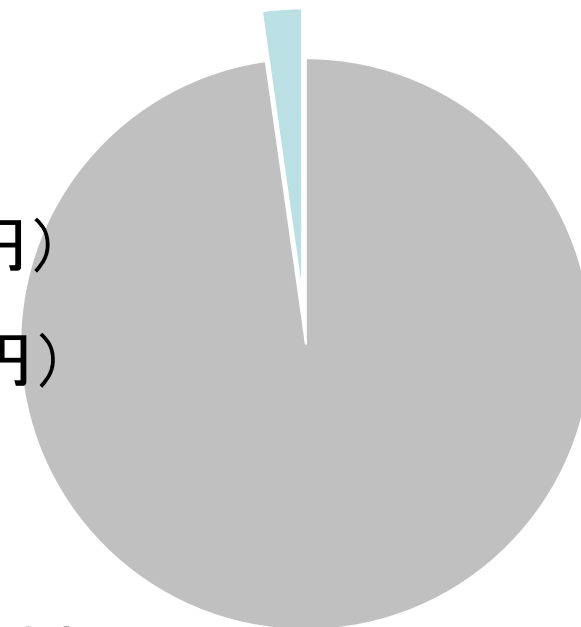
業績予想

### Ⅱ-3 海外子会社

□売上高 : 179百万円 (前期比 +0.1%→)

□経常損失 : △216百万円 (前期実績 △259百万円)

□当期純損失 : △293百万円 (前期実績 △259百万円)



#### <売上高>

スマートフォンに関連したパッケージ製品の販売から類似画像検索技術のライセンス販売に切り替えた営業を展開した結果、米国市場で流通業向けの当該ライセンス販売の受注などを獲得したものの微増にとどまる

#### <経常損失>

円建借入金に対する為替差損の減少により減少

#### <当期純損失>

システム販売事業に属する固定資産の減損(76百万円)を特別損失として計上



## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

連結財務諸表

業績予想

### Ⅱ-4 セグメント

#### ■ソフトウェア開発事業

売上高 : 9,432百万円(前期比 +13.8% ↑)

■ 素材・建設 : 636百万円( +68.2% ↑)

■ 製造 : 1,480百万円( +4.3% ↑)

■ 金融・保険 : 4,872百万円( +23.2% ↑)

■ 電力・運輸 : 725百万円( +29.8% ↑)

■ 情報・通信 : 1,286百万円( Δ24.9% ↓)

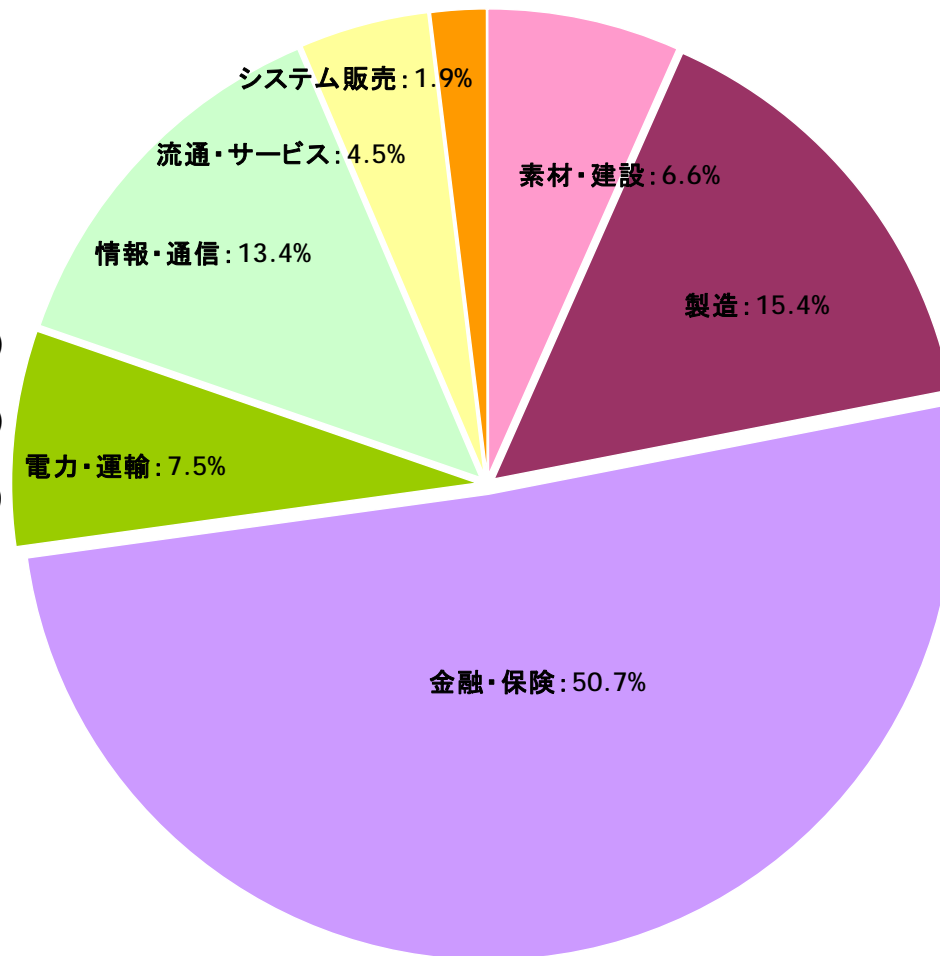
■ 流通・サービス : 431百万円( +61.0% ↑)

セグメント利益 : 631百万円(前期比 +72.7% ↑)

#### ■システム販売事業

売上高 : 181百万円(前期比 +0.0% →)

セグメント利益 : Δ202百万円(前期実績 Δ214百万円)





## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

連結財務諸表

業績予想

### Ⅱ-5 連結財務諸表（要旨）

#### Ⅱ-5-1 連結貸借対照表（要旨）

（金額単位：百万円）

資産科目	42期期末	41期期末	増減率
資産合計	13,736	13,637	+0.7%
流動資産	7,503	7,989	△6.1%
固定資産	6,233	5,648	+10.4%
資産合計	13,736	13,637	+0.7%

負債・純資産科目	42期期末	41期期末	増減率
負債合計	2,340	2,118	+10.4%
流動負債	1,463	1,281	+14.2%
固定負債	876	837	+4.7%
純資産合計	11,396	11,518	△1.1%
負債・純資産合計	13,736	13,637	+0.7%

公社債の満期償還により減少

公社債の購入および時価上昇に伴う  
含み損益の改善などにより増加

受注増に伴う外注費増による買掛金の  
増加および課税所得増加に伴う未  
払法人税等の増加により増加



## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

連結財務諸表

業績予想

### Ⅱ-5-2 連結損益計算書（要旨）

（金額単位：百万円）

科目	42期	41期	増減率
売上高	9,613	8,472	+13.5%
売上原価	7,594	6,664	+14.0%
売上総利益	2,018	1,807	+11.7%
販管費	1,590	1,657	△4.0%
営業利益	428	150	+184.0%
経常利益	628	413	+51.9%
当期純利益	128	77	+65.0%
1株当たり当期純利益（円）	7.47	4.53	+65.0%

ソフトウェア開発事業における売上増および社内原価率の改善ならびに販管費の減少により営業利益が増加

関係会社が保有する固定資産の減損損失などの特別損失を計上したが、経常利益の増加などで当該損失を補ったことにより増加

### Ⅱ-5-3 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（金額単位：百万円）

科目	42期	41期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	668	164	+504
投資活動によるキャッシュフロー	△321	1,730	△2,051
財務活動によるキャッシュフロー	△575	△572	△2
現金及び現金同等物の期末残高	4,031	4,263	△232

前期突出していた公社債の満期償還額が減少したことおよび新規購入額が増加したことにより減少

[詳細](#) P.23

[詳細](#) P.24



## Ⅱ. 業績ハイライト

連結

当社

海外

セグメント

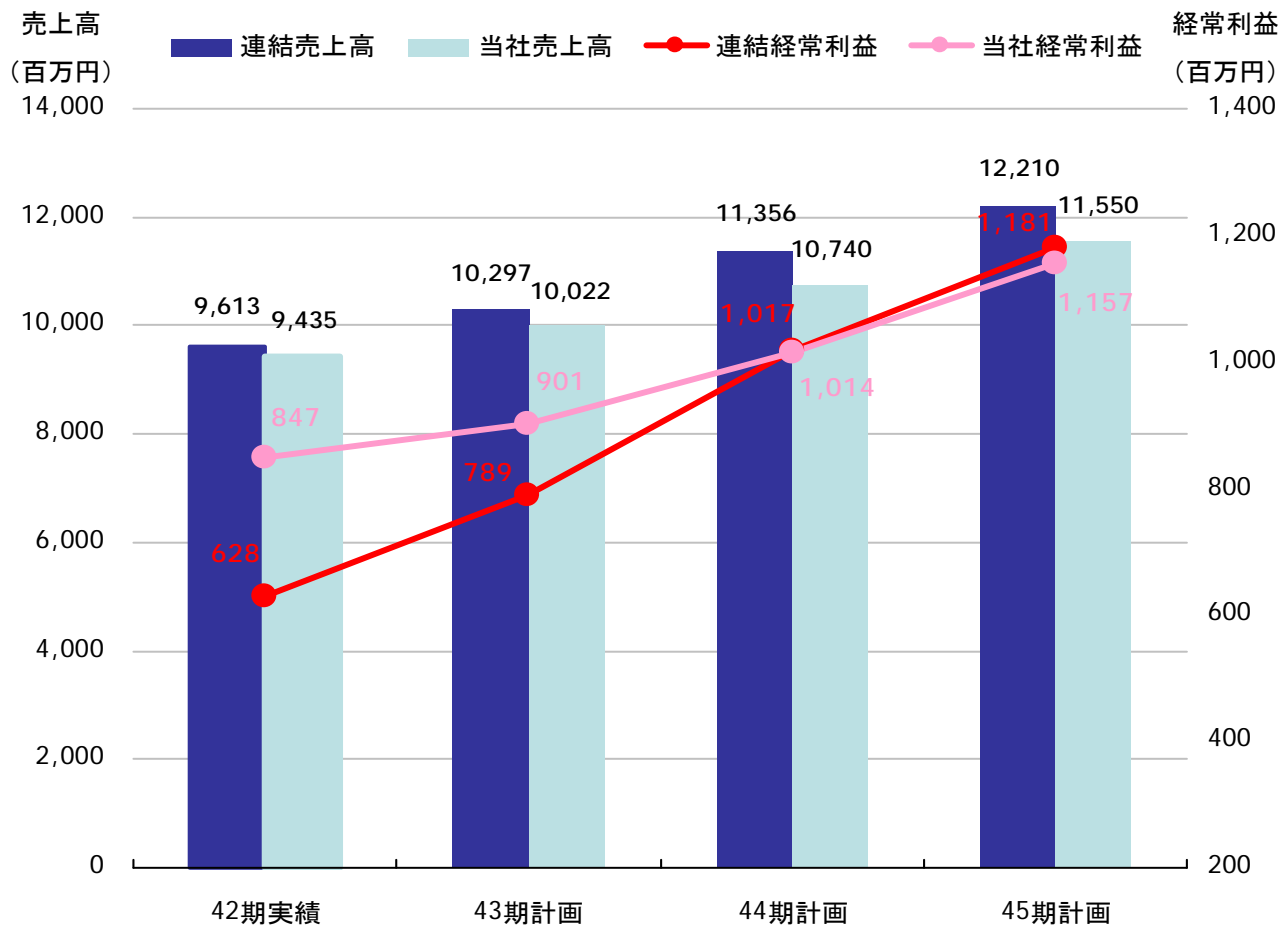
連結財務諸表

業績予想

### Ⅱ-6 業績予想

□翌期連結売上高(予想) : 10,297百万円( 当期実績比 +7.1% ↑ )

□翌期連結経常利益(予想): 789百万円( 当期実績比 +25.6% ↑ )



←

**<翌期連結売上高>**  
ソフトウェア事業における金融および通信業向けの受注増により増加

**<翌期連結経常利益>**  
ソフトウェア開発事業における社内原価率の改善ならびに余剰人員の減少に伴う販売費及び一般管理費の減少などにより増加



## Ⅲ. 詳細情報

### Ⅲ-1 当期の経営状況と業績

Ⅲ-1-1 当期(平成24年11月期(42期))の実績	P.12
Ⅲ-1-2 比較連結経営指標(実績5年)	P.13
Ⅲ-1-3 セグメント情報	
(1)セグメント別当期(平成24年11月期(42期))の実績	P.14
(2)セグメント別営業利益の増減分析	P.15

### Ⅲ-2 翌期以降の見通し

Ⅲ-2-1 翌期(平成25年11月期(43期))の四半期毎の連結業績推移(計画)	P.16
Ⅲ-2-2 連結営業成績年度推移(実績2年、計画3年)	P.17
Ⅲ-2-3 セグメント情報	
(1)取引先業種別売上高構成の推移(実績2年、計画3年)	P.18
(2)主要取扱業務別売上高構成の推移(実績2年、計画1年)	P.19
(3)新業務および新技術への取組(ソフトウェア開発事業)	P.20

### Ⅲ-3 連結財務諸表

Ⅲ-3-1 比較連結貸借対照表	P.22
Ⅲ-3-2 比較連結損益計算書	P.23
Ⅲ-3-3 比較連結キャッシュ・フロー計算書	P.24
Ⅲ-3-4 連結株主資本等変動計算書	P.25

# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-1 当期の経営状況と業績

### Ⅲ-1-1 当期(平成24年11月期(42期))の実績

-当社グループ-	前期(41期)		当期(42期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績	計画		
連結売上高	8,472百万円	8,867百万円	9,613百万円		+ 13.5%	+ 8.4%
連結営業利益	150百万円	351百万円	428百万円		+184.0%	+ 22.0%
連結経常利益	413百万円	641百万円	628百万円		+ 51.9%	△ 2.0%
連結経常利益率	(4.9%)	(7.2%)	(6.5%)			
連結当期純利益	77百万円	271百万円	(注1)128百万円		+ 65.0%	△ 52.5%

-当社-	前期(41期)		当期(42期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績	計画		
売上高	8,294百万円	8,611百万円	9,435百万円		+ 13.8%	+ 9.6%
営業利益	365百万円	484百万円	631百万円		+ 72.8%	+ 30.5%
経常利益	675百万円	775百万円	847百万円		+ 25.5%	+ 9.4%
経常利益率	(8.1%)	(9.0%)	(9.0%)			
当期純利益	339百万円	405百万円	(注2)△3,801百万円		-	-

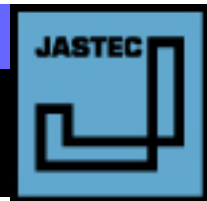
  

-海外子会社-	前期(41期)		当期(42期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績	計画		
売上高	179百万円	257百万円	179百万円		+ 0.1%	△ 30.2%
営業利益	△214百万円	△133百万円	△202百万円		-	-
経常利益	△259百万円	△134百万円	△216百万円		-	-
経常利益率	(△144.7%)	(△52.1%)	(△120.9%)			
当期純利益	△259百万円	△134百万円	(注1)△293百万円		-	-

(注1) 関係会社が保有する固定資産の減損損失76百万円を特別損失として計上しております。

(注2) 関係会社に係る株式評価損4,163百万円および同社の貸付金に対する貸倒引当金繰入額61百万円を特別損失として計上しております。

なお、当該損失は連結決算上内部取引として相殺消去されるため、連結損益に与える影響はありません。



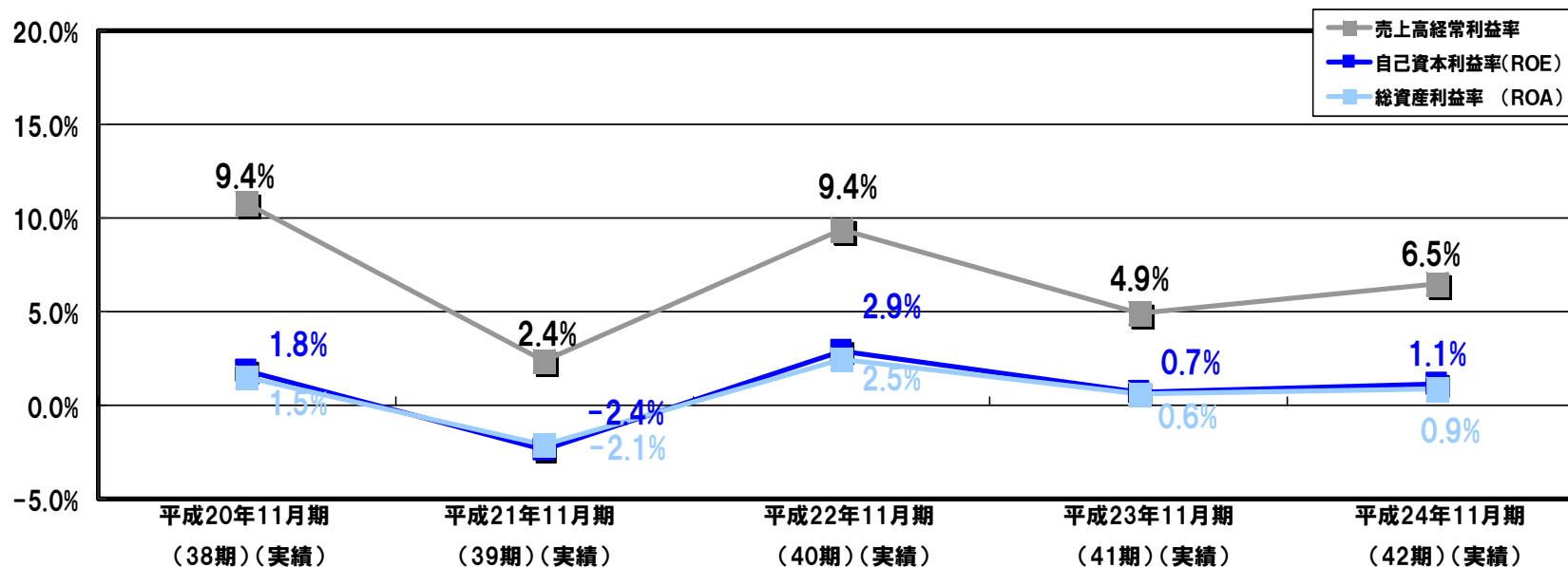
# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-1-2 比較連結経営指標



項目 (単位)	平成20年11月期 (38期) (実績)	平成21年11月期 (39期) (実績)	平成22年11月期 (40期) (実績)	平成23年11月期 (41期) (実績)	平成24年11月期 (42期) (実績)
純資産額 (百万円)	14,275	12,435	12,150	11,518	11,396
自己資本比率 (%)	84.0	86.4	86.1	84.2	82.6
自己資本利益率 ROE (%)	1.8	Δ2.4	2.9	0.7	1.1
総資産利益率 ROA (%)	1.5	Δ2.1	2.5	0.6	0.9
総資産経常利益率 (%)	8.5	1.5	5.6	3.0	4.6
売上高経常利益率 (%)	10.8	2.4	9.4	4.9	6.5
流動比率 (%)	330.6	520.5	630.6	623.4	512.6





# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-1-3 セグメント情報

### (1) セグメント別当期(平成24年11月期(42期))の実績

※1 ソフトウェア開発事業は、当社のみで実施している事業であります。

※2 当社は、日本市場における海外子会社の販売代理店としてシステム販売事業を行っており、その際に当社から海外子会社に支払うロイヤリティは当社グループ内の内部取引であるため、当社グループおよびそのセグメント情報においては、システム販売事業の売上高および売上原価から当該内部取引を消去して売上高および各利益を算出し表示しております。

#### -ソフトウェア開発事業-

	前期(41期)	当期(42期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績		
売上高	8,291百万円	8,607百万円	9,432百万円	+ 13.8%	+ 9.6%
セグメント利益	365百万円	481百万円	631百万円	+ 72.7%	+ 31.2%
セグメント利益率	(4.4%)	(5.6%)	(6.7%)		

#### -システム販売事業-

	前期(41期)	当期(42期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績		
売上高	181百万円	260百万円	181百万円	+ 0.0%	△ 30.1%
セグメント利益	△214百万円	△130百万円	△202百万円	-	-
セグメント利益率	(△118.1%)	(△50.0%)	(△111.6%)		



# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

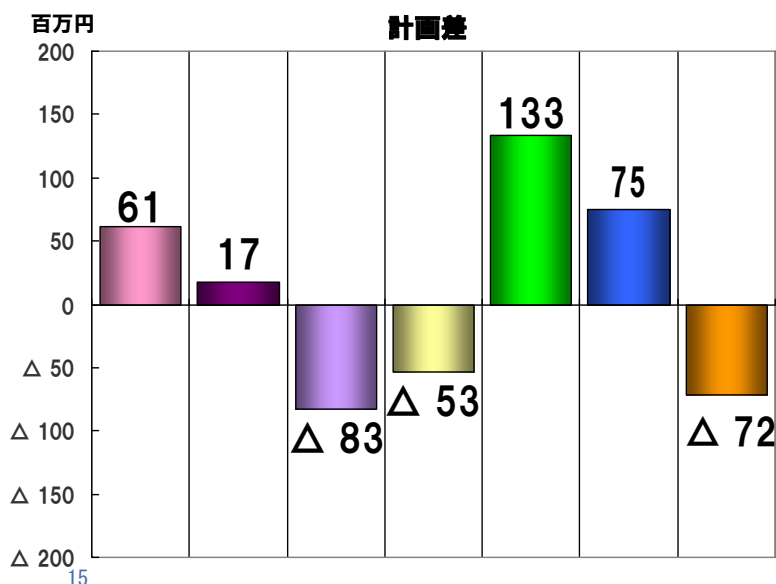
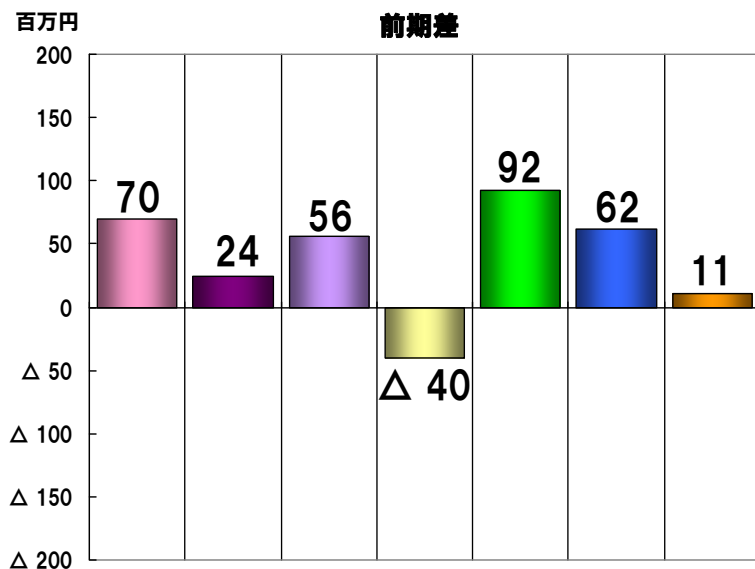
## (2) セグメント別営業利益の増減分析

### - 前期差(当期実績-前期実績)および計画差(当期実績-当期計画) -

※ 以下表は、営業利益の増減額を、ソフトウェア開発による営業利益およびシステム販売による営業利益に区分し、更にソフトウェア開発によるものを、利益に影響を与える6つの要因に区分して分析し、表示しております。

	前期差		計画差	
	金額(百万円)	対売上高比率(%)	金額(百万円)	対売上高比率(%)
ソフトウェア開発による営業利益の増減額	265	2.8	150	1.6
売上高の変動による増減額	70	0.7	61	0.6
外注比率の変動による増減額	24	0.3	17	0.2
社内開発分の原価率の変動による増減額	56	0.6	△83	△0.9
外注分の原価率の変動による増減額	△40	△0.4	△53	△0.5
販売費及び一般管理費比率の変動による増減額	92	1.0	133	1.4
余剰要員の変動による増減額	62	0.6	75	0.8
システム販売による営業利益の増減額	11	0.1	△72	△0.8
合計(連結営業利益の増減額)	277	2.9	77	0.8

### - 上記表のグラフ -



- ソフトウェア開発事業
  - 売上高の変動による増減額
  - 外注比率の変動による増減額
  - 社内開発分の原価率の変動による増減額
  - 外注分の原価率の変動による増減額
  - 販売費・一般管理費比率の変動による増減額
  - 余剰要員の変動による増減額
- システム販売事業
  - システム販売による営業利益の増減額



# Ⅲ 詳細情報

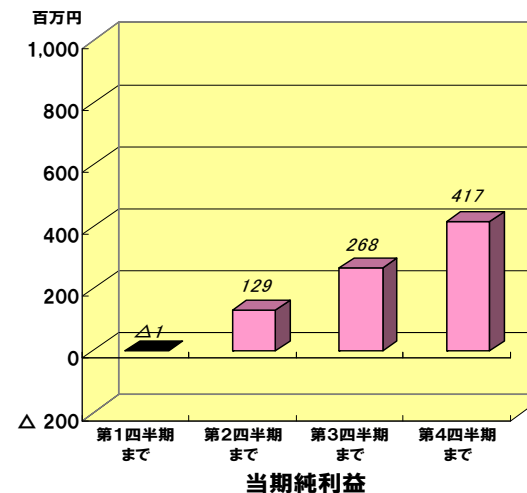
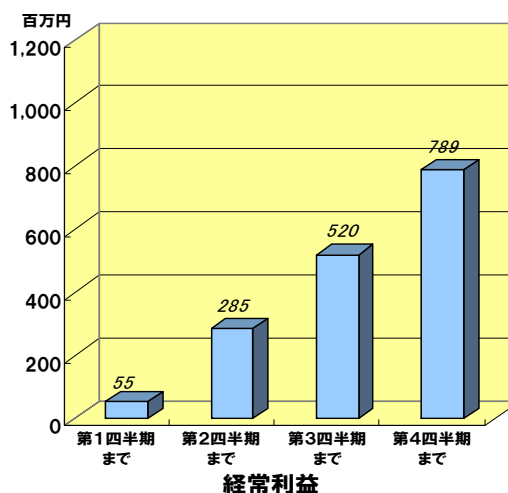
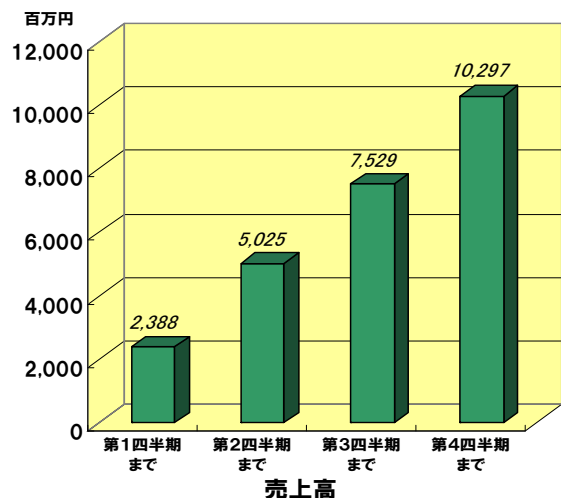
当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-2 翌期以降の見通し

### Ⅲ-2-1 翌期(平成25年11月期(43期))四半期毎の連結業績推移(計画)



(金額単位:百万円<sup>(注1)</sup>、売上比単位:%)

項目	第1四半期まで(12月~2月)		第2四半期まで(12月~5月)		第3四半期まで(12月~8月)		第4四半期まで(12月~11月)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	2,388	100.0	5,025	100.0	7,529	100.0	10,297	100.0
売上総利益	468	19.6	1,091	21.7	1,708	22.7	2,321	22.5
営業利益	57	2.4	265	5.3	462	6.1	694	6.7
経常利益	55	2.3	285	5.7	520	6.9	789	7.7
当期純利益	Δ1	Δ0.0	129	2.6	268	3.6	417	4.0
受注高 <sup>(注2)</sup>	2,084	-	5,128	-	7,437	-	10,278	-
受注残高 <sup>(注2)</sup>	2,740	-	2,728	-	3,135	-	2,762	-

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 受注高および受注残高は、ソフトウェア開発に係わるものであります。

なお、当期(42期)の受注高は9,686百万円、当期末の受注残高は2,750百万円であります。



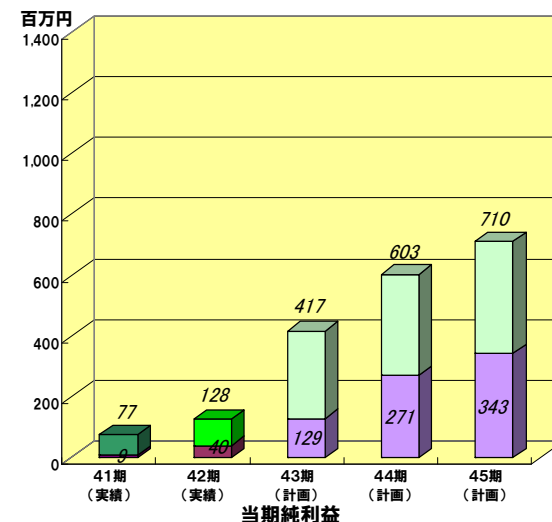
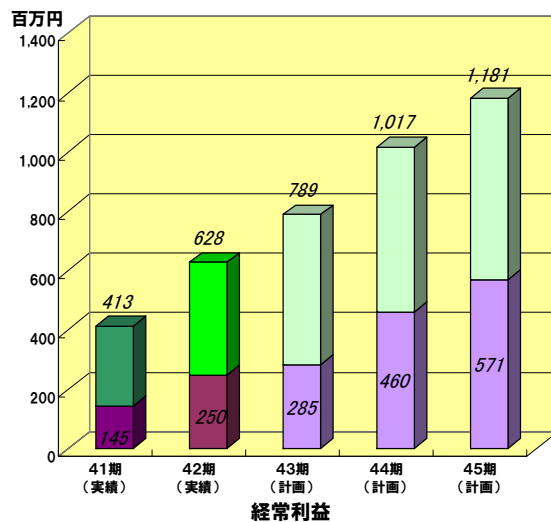
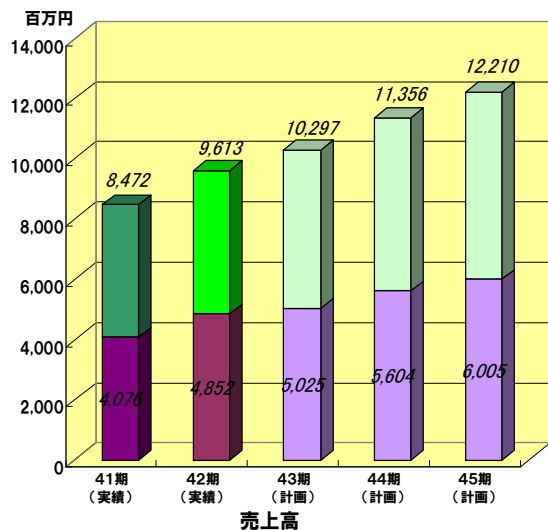
# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-2-2 連結営業成績年度推移(実績2年、計画3年)



(金額単位:百万円<sup>(注1)</sup>、売上比および対前期比単位:%)

項目 <sup>(注2)</sup>	平成23年11月期(41期実績)			平成24年11月期(42期実績)			平成25年11月期(43期計画)			平成26年11月期(44期計画)			平成27年11月期(45期計画)		
	金額	売上比	対前期比	金額	売上比	対前期比	金額	売上比	対前期比	金額	売上比	対前期比	金額	売上比	対前期比
売上高	8,472 (4,076)	100.0 (100.0)	△ 1.0 (△3.2)	9,613 (4,852)	100.0 (100.0)	13.5 (19.0)	10,297 (5,025)	100.0 (100.0)	7.1 (3.6)	11,356 (5,604)	100.0 (100.0)	10.3 (11.5)	12,210 (6,005)	100.0 (100.0)	7.5 (7.2)
売上総利益	1,807 (847)	21.3 (20.8)	△ 15.6 (△19.0)	2,018 (1,001)	21.0 (20.6)	11.7 (18.2)	2,321 (1,091)	22.5 (21.7)	15.0 (8.9)	2,399 (1,171)	21.1 (20.9)	3.4 (7.3)	2,675 (1,332)	21.9 (22.2)	11.5 (13.7)
営業利益	150 (14)	1.8 (0.3)	△ 38.8 (△90.1)	428 (189)	4.5 (3.9)	184.0 (1,239.2)	694 (265)	6.7 (5.3)	62.0 (40.2)	947 (438)	8.3 (7.8)	36.5 (65.3)	1,106 (548)	9.1 (9.1)	16.8 (25.1)
経常利益	413 (145)	4.9 (3.6)	△ 48.3 (△45.2)	628 (250)	6.5 (5.2)	51.9 (71.3)	789 (285)	7.7 (5.7)	25.6 (14.0)	1,017 (460)	9.0 (8.2)	28.9 (61.4)	1,181 (571)	9.7 (9.5)	16.1 (24.1)
当期純利益	77 (9)	0.9 (0.2)	△ 78.3 (△91.3)	128 (40)	1.3 (0.8)	65.0 (328.5)	417 (129)	4.0 (2.6)	224.1 (217.5)	603 (271)	5.3 (4.8)	44.6 (110.1)	710 (343)	5.8 (5.7)	17.7 (26.6)

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(注2) ( )付数値は第2四半期累計期間の実績または計画です。また、棒グラフの下段(■、■、および■)に、第2四半期累計期間の実績または計画を表示しております。



# Ⅲ 詳細情報

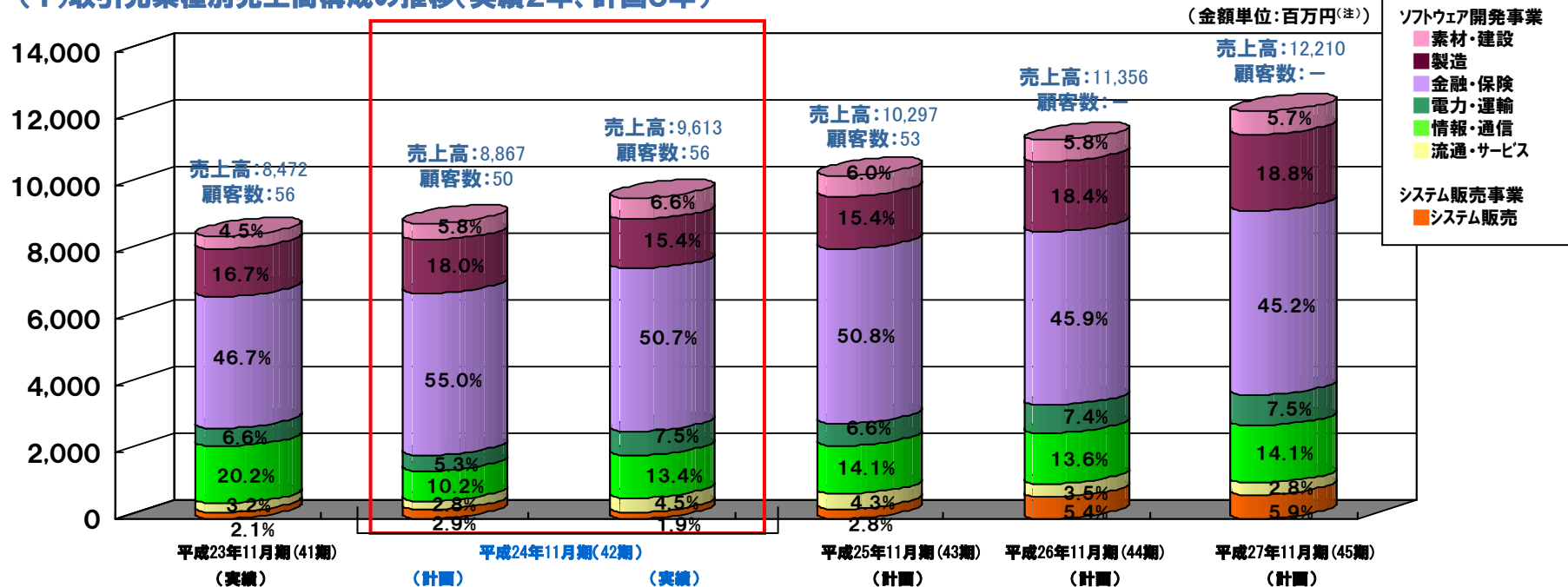
当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

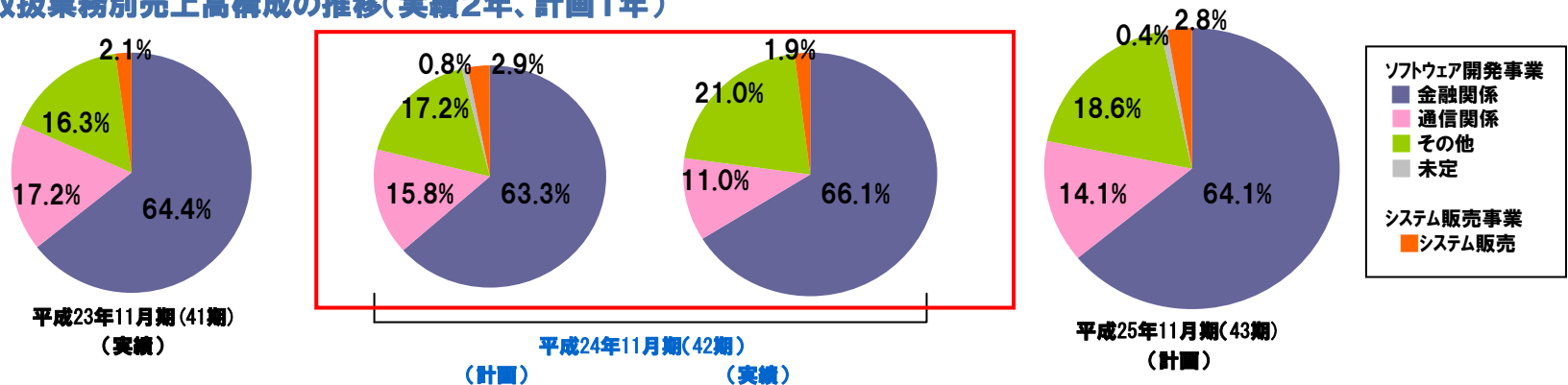
連結財務諸表

## Ⅲ-2-3 セグメント情報

### (1)取引先業種別売上高構成の推移(実績2年、計画3年)



### (2)主要取扱業務別売上高構成の推移(実績2年、計画1年)



(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。



# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

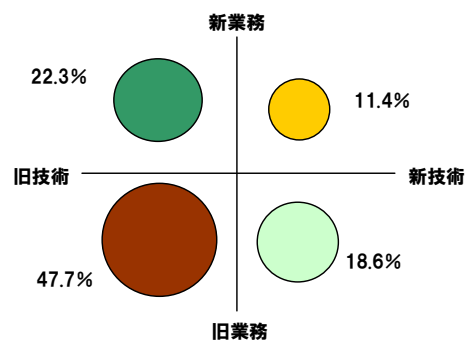
翌期以降の見通し

連結財務諸表

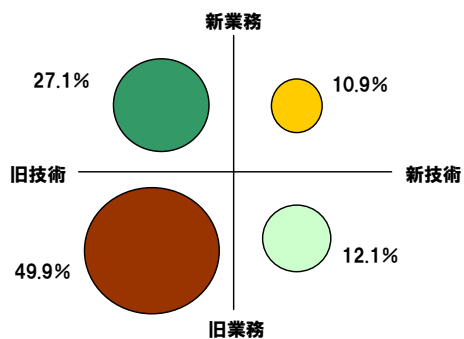
## (3) 新業務および新技術への取組み(ソフトウェア開発業務)

### ① 当期の計画と実績の比較

平成24年11月期(42期)計画(売上高 86.07億円)

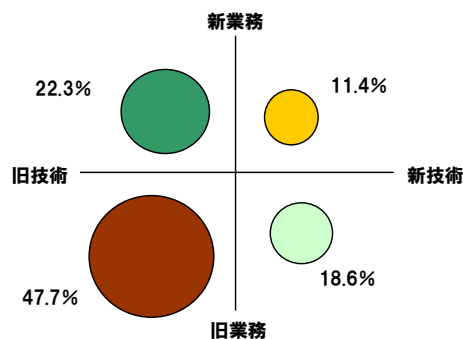


平成24年11月期(42期)実績(売上高 94.32億円)

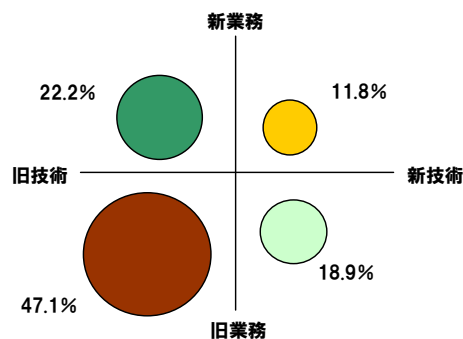


### ② 翌期以降の計画(3年、新業務および新技術の定義(P. 20参照)に基づく新定義)

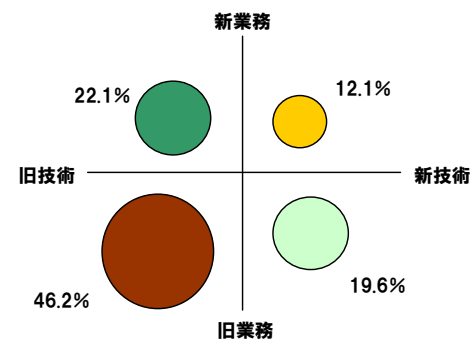
平成25年11月期(43期)(売上高 100.10億円)



平成26年11月期(44期)(売上高 107.20億円)



平成27年11月期(45期)(売上高 115.00億円)





# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## ③ 新業務および新技術の定義

### 新業務

#### (1) EDP

##### ① 金融業務

- a. 【統廃合】金融機関の合併、統合、共同化、提携によるシステム化の要求の拡大
  - ・システム機能の吸収
  - ・データ移行
  - ・新日銀ネット接続
  - ・銀・証連携
- b. 【創出業務】直接金融化、規制緩和、税制改革による新業務、新商品の増加
  - ・次世代バンキングシステム
  - ・リレーションシップバンキング対応
  - ・BIS規制第3次
  - ・個人向け新型金融
  - ・証券個別元本管理
  - ・金融複合商品(生損保統合商品)
  - ・市場性商品(オプション取引、デリバティブ)
  - ・SWIFT (ISO20022対応)
- c. 【付加価値】ソフトサービスによる付加価値向上
  - ・介護保険
  - ・ファイナンシャルサービス

##### ② 非金融業務

- a. 【統廃合】企業の合併、統合、共同化、提携によるシステム化要求の拡大
  - ・企業規模拡大による販商品の増加と競争力の強化
  - ・システム機能の吸収
- b. 【創出業務】真業務への参入、ハイテク技術進展あるいは環境問題対応に伴うシステム化要求の拡大
  - ・メーカー系金融機関による直接決済
  - ・バイオインフォマテック
  - ・ECビジネス
  - ・スマート化(HEMS, BEMS, FEMS, CEMS)
- c. 【付加価値】ソフトサービスによる付加価値向上
  - ・SCM/CPFR
- d. 【Web化】インターネット技術を使用したビジネスモデルの変革
  - ・メール直販、メール直送
  - ・電子調達、eマーケットプレイス

##### ③ 共通業務

- a. 【統廃合】企業の合併、統合、共同化、提携のためのシステムインフラ整備と再構築要求の拡大
  - ・システム間接続(EAI)
  - ・共通インフラでの再構築
  - ・モダン化(リホスト/リライト/リファクタ/リインターフェイス/リプレイス/リビルド)
  - ・規模の限界に起因する基幹系システムの再構築
- b. 【創出業務】新たなビジネスモデル実現のためのインフラの拡充と新規ビジネスモデルの増加
  - ・BtoB、BtoCビジネスインフラ
  - ・統合顧客管理(CRM)
  - ・デジタル放送利用ビジネス(決済、顧客管理等)
  - ・JSOX対応
  - ・CSR対策(保険金不払い対応等)
  - ・NGN利用拡大(大容量データ処理)
  - ・BCP(業務継続計画)対応
  - ・クラウドコンピューティング(SaaSインフラ, ASPインフラ)
  - ・データウェアハウス、データマイニング
  - ・モバイルアプリケーション
  - ・IFRS対応(グローバル会計対応等)
  - ・RFID利用拡大
  - ・次世代検索(画像・音声)
  - ・ISO26262(機能安全規格)対応
- c. 【G効率化】連結会計・連結納税の要請に基づく企業グループ全体の効率化推進
  - ・ERPによるシステム標準化
  - ・顧客データの相互提供
  - ・CMS(ネットting)
  - ・システムのグループ共有化(会計、人事、販売在庫、物流)
- d. 【付加価値】ソフトウェアによる公共・福祉サービスの充実
  - ・電子行政
  - ・ワンストップサービス
  - ・医療/介護サービス
  - ・高信頼ソフト
- e. 【Web化】インターネット技術の進展に基づくシステム化要求の増大
  - ・レガシーフロント業務のWeb化
  - ・セキュリティ関連機能
  - ・Webコラボレーション
  - ・コンテンツ流通インフラ

#### (2) 非EDP

##### ① 通信制御

- a. 【Web化】インターネット製品の需要拡大
  - ・IP電話(電話マイグレーション)
  - ・Net放送
  - ・各種IP対応製品(無線・有線/融合)
  - ・インターネットVPN/VLAN
  - ・ネットTV製品
  - ・WAF(Web Application Firewall)
  - ・クラウド端末(シンククライアント、Mobile Internet Device、ハンディターミナル等業務端末、カーナビ、スマートフォン、タブレット端末)
- b. 【光(モバイル)】高速大容量通信による次世代ネットワークインフラ市場の拡大とユキヒタコンピューティングに対応するシステム需要の拡大
  - ・WDM
  - ・FTTH対応製品
  - ・無線LAN対応機器
  - ・オール光対応製品
  - ・NGN対応製品
  - ・メディアコンバータ
  - ・ウェアラブルコンピュータ
  - ・携帯端末のSIMロック解除対応
  - ・光ルータ
  - ・Bluetooth等の近距離無線対応機器
  - ・MVNO
  - ・モバイルルータ
  - ・デザリング
- c. 【次世代通信】放送と通信/固定網と移動網の融合、車載システムと通信の融合等を含む次世代インフラ市場の拡大
  - ・ITS
  - ・車載ネットワークと通信
  - ・新世代ネットワーク(NGN, NGNの次世代/新世代)
  - ・ホームネットワーク(ホームゲートウェイ/ホームLAN/ホームサーバ等)
  - ・WIMAX
  - ・ビデオカンファレンス
  - ・CTIC(Computer Telephony Integration)
  - ・第4世代端末

昨年度の新業務からの除外項目

なし

##### ② 非通信制御

- a. 【Web化】サイバー社会に向けた製品化およびシステム化要求の拡大
  - ・情報家電
  - ・ロボット
  - ・ポータルサービス/ホスティングサービス/ハウジングサービス
  - ・各種バーチャルシミュレーションシステム/機器
  - ・PLC
  - ・オートモーティブ関連製品
  - ・マイクロマシン
  - ・医療/介護機器
  - ・ストレージ製品
  - ・省エネ・ECO製品
  - ・変換システム/製品
  - ・スマートグリッド製品
  - ・ホームセキュリティ製品

### 新技術

#### (1) 開発管理技術

- ① 定量的管理技術(科学的根拠に基づくソフトウェア開発コストの適正化)
- ② プロセス管理技術(ソフトウェア品質でのグローバルスタンダードへの適合および開発プロセスのテンプレート整備)
  - ・プロセス管理技術(CMMI, SPICE, 等)

#### (2) 開発工法

- ① 開発モデル/開発手法(OSおよび言語等に依存しないアプリケーション手法の確立)
  - ・EA
  - ・EA
  - ・通用業務ソフト自動生成技術
  - ・SOA
  - ・MID(A Model Driven Architecture)
  - ・アスペクト指向(AspectJ, JBossADP等)
  - ・TDD(Test Driven Development)
  - ・バッチ高速化新処理方式(Hadoop, ユニケース)
  - ・ストリーム・コンピューティング
  - ・モデルベース開発
  - ・部品組み立て型開発

#### (3) 開発要素技術

- ① 業務システム化技術(ビジネスモデルの台頭による商品/業務モデル実装スキルの要求拡大)
  - ・業務システム化技術
  - ・クラウドコンピューティング(SaaSなどを含む)、RFID, SFA, VBM, CTI, Webサービス、BI構築関連技術(データウェアハウス, OLAP, データマイニング等)、企業間データ交換へのXML表現などの活用技術、ICカード等
- ② システム基盤技術(技術革新および適用/応用に基づいた技術連鎖による基盤要素技術の進展)
  - ・ソフト基盤技術
  - ・オープンソースの台頭(OS, DBMS, WebKit, アプリケーションFW, Android等の端末OSやミドル, SDK等):汎用から組み込み、端末まで
  - ・通信基盤技術
  - ・IPV6, エンドエンドセッション型通信とサーバクセ型通信, P2P, M2M, NGN(VOIP, SIP, NAC-RAC, SDP, IMS, 3. 9G(LTE等)), 4G, WiMAX, ユーザ認証等)、無線通信、ネットワーク制御技術(ルータ, L3スイッチングHUB等)
  - ・ネットワーク構築技術
  - ・インターネットサービス進展やクラウドコンピューティング対応等のNMS, ポリシー管理、仮想ネットワーク管理・サービス、ネットワーク自己組織化等
  - ・Webサービス技術
  - ・SOAP/UDDI/WSDL
  - ・データ管理・処理技術
  - ・オープンソースDBMS等
  - ・画像処理技術
  - ・組み込み基盤技術
- ③ 設計・開発技術(技術革新および適用・応用に基づいた技術連鎖による設計開発技術の進展)
  - ・企画・分析技術(要件定義技術(ゴール指向, NFR等))
  - ・システム化技術(クラウドコンピューティングを含む仮想化技術等)
  - ・システム実用技術
  - ・ソフトウェア保守技術
- ④ 検証技術(技術革新および適用・応用に基づいた技術連鎖による検証技術の進展)
  - ・形式手法
  - ・モデル検証
  - ・テスト技術(直交表など網羅性と効率性とを両立するテスト戦略等)
- ⑤ 開発サポート技術(技術革新および適用・応用に基づいた技術連鎖による開発サポート技術の進展)
  - ・開発サポート技術(要件管理支援ツール等)

昨年度の新技術からの除外項目

なし



# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

(参考) 略称一覧表 ※アルファベット順

No.	略称	フルネーム
1	ASP	Application Service Provider
2	ATM	Automated Teller Machine
3	BCP	Business Continuity Plan
4	BEMS	Building Energy Management System
5	BI	Business Intelligence
6	BIS	Bank for International Settlements
7	CEMS	Cluster/Community Energy Management System
8	CMMI	Capability Maturity Model Integration
9	CMS	Cash Management System
10	CPFR	Collaborative Planning, Forecasting and Replenishment
11	CRM	Customer Relationship Management
12	CSR	Corporate Social Responsibility
13	CTI	Computer Telephony Integration
14	DBMS	DataBase Management System
15	DVP	Delivery Versus Payment
16	EA	Enterprise Architecture
17	EAI	Enterprise Application Integration
18	EDP	Electronic Data Processing
19	ERP	Enterprise Resource Planning
20	FEMS	Factory Energy Management System
21	FTTH	Fiber To The Home
22	HEMS	Home Energy Management System
23	IFRS	International Financial Reporting Standards
24	IMS	Information Management System
25	IP	Internet Protocol
26	IPv6	Internet Protocol Version 6
27	ISO	International Organization for Standardization
28	ITS	Intelligent Transport Systems
29	JSOX	Japanese Sarbanes-Oxley act
30	LTE	Long Term Evolution
31	M2M	Machine to Machine
32	MDA	Model Driven Architecture

No.	略称	フルネーム
33	MVNO	Mobile Virtual Network Operator
34	NAC	Network Admission Control
35	NFR	Non Functional Requirement
36	NGN	Next Generation Network
37	NMS	Network Management System
38	OLAP	Online Analytical Processing
39	P2P	Peer to Peer
40	PLC	Power Line Communication
41	RAC	Real Application Clusters
42	RFID	Radio Frequency Identification
43	SaaS	Software as a Service
44	SCM	Supply Chain Management
45	SDK	Software Development Kit
46	SDP	Self-Development Program
47	SFA	Sales Force Automation
48	SIM	Subscriber Identity Module card
49	SIP	Session Initiation Protocol
50	SOA	Service Oriented Architecture
51	SOAP	Simple Object Access Protocol
52	SPICE	Simulation Program with Integrated Circuit Emphasis
53	SWIFT	Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication
54	TDD	Test Driven Development
55	UDDI	Universal Description, Discover and Integration
56	VBM	Value Based Management
57	VLAN	Virtual Local Area Network
58	VOIP	Voice Over Internet Protocol
59	VPN	Virtual Private Network
60	WAF	Web Application Firewall
61	WDM	Wavelength Division Multiplexing
62	WiMAX	Worldwide Interoperability for Microwave Access
63	WSDL	Web Services Description Language
64	XML	eXtensible Markup Language





# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

## 連結財務諸表

### Ⅲ-3 連結財務諸表

#### Ⅲ-3-1 比較連結貸借対照表

(金額単位:百万円<sup>(注)</sup>)

	平成24年11月期 (42期)連結会計年度		平成23年11月期 (41期)連結会計年度		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
<b>資産合計</b>	13,736	100.0%	13,637	100.0%	98	0.7%
流動資産	7,503	54.6%	7,989	58.6%	△ 485	△ 6.1%
現金預金	1,328	9.6%	1,462	10.7%	△ 134	△ 9.2%
売掛金	975	7.1%	935	6.9%	39	4.2%
有価証券	4,038	29.4%	4,416	32.4%	△ 377	△ 8.5%
仕掛品の他	1,034	7.6%	896	6.6%	137	15.4%
その他	125	0.9%	277	2.0%	△ 151	△ 54.7%
固定資産	6,233	45.4%	5,648	41.4%	584	10.4%
有形固定資産	175	1.3%	167	1.2%	8	5.0%
リース資産	122	0.9%	106	0.8%	15	14.9%
その他の他	53	0.4%	60	0.4%	△ 7	△ 12.5%
無形固定資産	265	1.9%	269	2.0%	△ 3	△ 1.4%
投資その他の資産	5,792	42.2%	5,211	38.2%	580	11.1%
投資有価証券	3,686	26.9%	3,020	22.1%	665	22.0%
繰延税金資産	408	3.0%	743	5.5%	△ 335	△ 45.1%
敷金	221	1.6%	229	1.7%	△ 8	△ 3.8%
保険積立金の他	1,336	9.7%	1,157	8.5%	178	15.4%
その他	140	1.0%	60	0.4%	80	134.0%
<b>負債及び純資産合計</b>	13,736	100.0%	13,637	100.0%	98	0.7%
負債合計	2,340	17.0%	2,118	15.5%	221	10.4%
流動負債	1,463	10.6%	1,281	9.4%	182	14.2%
買掛金	224	1.6%	101	0.7%	122	119.9%
リース債務	51	0.4%	46	0.4%	4	10.5%
未払金	978	7.1%	1,012	7.4%	△ 34	△ 3.4%
未払法人税等	123	0.9%	51	0.4%	71	138.6%
その他の他	85	0.6%	68	0.5%	17	26.3%
固定負債	876	6.4%	837	6.1%	39	4.7%
リース債務	71	0.5%	60	0.4%	10	17.7%
退職給付引当金	169	1.2%	171	1.3%	△ 1	△ 1.1%
役員退職慰労引当金	596	4.4%	565	4.1%	30	5.4%
資産除去債務	37	0.3%	37	0.3%	△ 0	△ 0.2%
その他	1	0.0%	1	0.0%	0	6.7%
<b>純資産合計</b>	11,396	83.0%	11,518	84.5%	△ 122	△ 1.1%
株主資本	11,487	83.7%	11,875	87.1%	△ 388	△ 3.3%
資本剰余金	2,238	16.3%	2,238	16.4%	-	-
利益剰余金	2,118	15.4%	2,118	15.6%	-	-
利益剰余金の他	7,782	56.7%	8,170	59.9%	△ 388	△ 4.8%
自己株式	△ 652	△ 4.7%	△ 652	△ 4.8%	△ 0	△ 0.0%
その他の包括利益累計額	△ 135	△ 1.0%	△ 395	△ 2.9%	259	-
その他有価証券評価差額	△ 102	△ 0.8%	△ 354	△ 2.6%	252	-
為替換算調整勘定	△ 33	△ 0.2%	△ 40	△ 0.3%	7	-
新株予約権	44	0.3%	38	0.3%	6	16.4%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

**■資産**

\*1 有価証券および投資有価証券の内訳は以下のとおりであります。  
 ①有価証券は、公社債の償還(△1,683百万円)および追加型公社債投資信託の解約(△100百万円)による減少額が、公社債の購入(808百万円)および投資有価証券から1年内満期有価証券への振替(602百万円)による増加額を上回り、減少しております。  
 ②投資有価証券は、公社債の購入(961百万円)および株式等の時価上昇に伴う含み損益の改善(312百万円)による増加額が、1年内満期有価証券への振替(△602百万円)による減少額を上回り、増加しております。

(単位:百万円)

	42期連結会計年度	41期連結会計年度	増減額	増減率
有価証券	1,305	1,585	△ 279	△ 17.6%
追加型公社債投資信託	2,733	2,831	△ 97	△ 3.5%
合計	4,038	4,416	△ 377	△ 8.5%
投資有価証券	1,258	905	352	39.0%
株式	1,348	1,132	216	19.1%
子会社株式	10	10	-	-
公社債投資信託	183	199	△ 15	△ 8.0%
不動産投資信託	751	599	152	25.4%
匿名組合等への出資	134	174	△ 40	△ 23.1%
合計	3,686	3,020	665	22.0%

\*2 受注増により、増加しております。  
 \*3 時価上昇および有価証券の償還等により含み損が減少したこと(184百万円)ならびに税制改正に伴う実効税率変更に伴い繰延税金資産を取り崩したこと(53百万円)等により、減少しております。  
 \*4 役員に対する保険の契約により、増加しております。

**■負債**

\*5 受注増に伴う外注費増により、増加しております。

**■純資産**

\*6 配当金の支払(517百万円)により、減少しております。  
 \*7 有価証券の時価が改善したことにより、含み損が減少しております。



# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-3-2 比較連結損益計算書

(金額単位:百万円<sup>(注1)</sup>)

	平成24年11月期 (42期)		平成23年11月期 (41期)		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減比
売上高	9,613	100.0%	8,472	100.0%	1,141	13.5%
受注製品売上高	9,432	98.1%	8,291	97.9%	1,141	13.8%
素材・建設業	636	6.6%	378	4.5%	258	68.2% *1
製造業	1,480	15.4%	1,418	16.7%	61	4.3%
金融・保険業	4,872	50.7%	3,955	46.7%	917	23.2% *2
電力・運輸業	725	7.5%	558	6.6%	166	29.8% *3
情報・通信業	1,286	13.4%	1,711	20.2%	△ 425	△ 24.9% *4
流通・サービス業	431	4.5%	268	3.2%	163	61.0% *5
システム販売売上高	181	1.9%	181	2.1%	0	0.0%
売上原価 <sup>(注2)</sup>	7,594	79.0%	6,664	78.7%	930	14.0%
受注製品売上原価	7,588	80.4%	6,655	80.3%	932	14.0%
内作費	6,091	78.3%	5,654	79.1%	436	7.7%
外注費 <sup>(注3)</sup>	1,497	90.5%	1,001	88.0%	495	49.5%
システム販売売上原価	6	3.8%	8	4.9%	△ 1	△ 22.3%
売上総利益	2,018	21.0%	1,807	21.3%	211	11.7% *6
販売費及び一般管理費	1,590	16.5%	1,657	19.5%	△ 66	△ 4.0%
人件費	957	10.0%	1,028	12.1%	△ 71	△ 6.9%
旅費・交通費	58	0.6%	67	0.8%	△ 8	△ 12.6%
支払手数料	156	1.6%	158	1.9%	△ 2	△ 1.4%
賃借料・水道光熱費	62	0.6%	59	0.7%	2	4.6%
諸経費	356	3.7%	343	4.0%	12	3.7%
営業利益	428	4.5%	150	1.8%	277	184.0% *7
営業外収益	234	2.4%	340	4.0%	△ 105	△ 30.9%
営業外費用	35	0.4%	77	0.9%	△ 42	△ 54.7%
経常利益	628	6.5%	413	4.9%	214	51.9% *8
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	△ 0	△ 27.1%
特別損失	106	1.1%	76	0.9%	30	40.5%
税金等調整前当期純利益	521	5.4%	337	4.0%	183	54.4%
法人税、住民税及び事業税	198	2.1%	172	2.0%	25	15.0%
法人税等調整額	194	2.0%	87	1.1%	107	122.2%
法人税等合計	393	4.1%	259	3.1%	133	51.2%
少数株主損益調整前当期純利益	128	1.3%	77	0.9%	50	65.0%
当期純利益	128	1.3%	77	0.9%	50	65.0% *9
1株当たり当期純利益(円)	7.47		4.53		2.94	65.0%

### ■売上高

- \*1 建設業に係る再構築案件等の受注増により、増加しております。
- \*2 銀行および保険業に係る基幹業務案件等の受注増により、増加しております
- \*3 運輸業向けの業務管理案件等の受注増により、増加しております。
- \*4 郵貯関連案件のピーク経過により、減少しております。
- \*5 卸売業に係る業務管理案件等の受注増により、増加しております。

### ■売上総利益

- \*6 売上高の増加および社内原価率の改善により、増加しております。

### ■営業利益

- \*7 売上総利益の増加および販売費及び一般管理費の削減などにより、増加しております。

### ■経常利益

- \*8 前期実施した株式および不動産投資信託の売却に伴う投資有価証券売却益(49百万円)による突出収益の減少ならびに有価証券利息、雇用調整助成金等が減少したものの、営業利益の増加により、増加しております。

### ■四半期純利益

- \*9 海外子会社が保有する固定資産の減損損失(76百万円)が発生したものの、経常利益の増加および有価証券の減損損失額の減少(当期計上額:24百万円(前期比36百万円減))等により、増加しております。

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 「売上原価」の売上比は、それぞれ対応する売上高に対する比率を記載しております。

(注3) 「受注製品売上原価」の「外注費」には、外注に係る補助部門費(購買費、検査費)を含んでおります。



# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-3-3 比較連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位:百万円(注))

	平成24年11月期 (42期)	平成23年11月期 (41期)	増減額
	金額	金額	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益	521	337	183 *1
減価償却費	146	133	13
減損損失	76	-	76 *2
受注損失引当金の増加額(減少額(△))	△ 3	1	△ 5
役員退職慰労引当金の増加額(減少額(△))	30	△ 16	46
受取利息及び受取配当金等	△ 92	△ 139	47
支払利息	1	1	△ 0
投資有価証券売却損益(益(△))	7	△ 49	57 *3
投資有価証券評価損益(益(△))	24	60	△ 36
投資有価証券償還益(益(△))	△ 116	△ 117	1
売上債権の減少額(増加額(△))	△ 26	92	△ 119 *4
たな卸資産の減少額(増加額(△))	△ 137	△ 465	327 *5
仕入債務の増加額(減少額(△))	122	26	95 *6
未払賞与の増加額(減少額(△))	△ 5	136	△ 141 *7
その他の資産の減少額(増加額(△))	20	107	△ 86 *8
その他の負債の増加額(減少額(△))	23	54	△ 31
その他	96	107	△ 9
小計	690	271	418
利息及び配当金の受取額	107	152	△ 45
利息の支払額	△ 2	△ 2	0
法人税等の支払額	△ 126	△ 257	131 *9
営業活動によるキャッシュ・フロー	668	164	504
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有価証券の取得による支出	△ 909	△ 300	△ 609 *10
有価証券の満期償還による収入	1,800	2,100	△ 300 *11
有形固定資産の取得による支出	△ 17	△ 6	△ 10
無形固定資産の取得による支出	△ 195	△ 158	△ 37
投資有価証券の償還による収入	-	505	△ 505 *12
投資有価証券の取得による支出	△ 910	△ 601	△ 308 *13
投資有価証券の売却による収入	12	166	△ 153 *14
長期預金の払戻による収入	-	325	△ 325 *15
保険積立金の積立による支出	△ 353	△ 346	△ 7
解約による保険積立金の収入	174	-	174 *16
その他	77	45	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 321	1,730	△ 2,051
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入れによる収入	460	460	-
短期借入金の返済による支出	△ 460	△ 460	-
自己株式純増加額(△)	△ 0	△ 0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△ 56	△ 56	0
配当金の支払額	△ 518	△ 515	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 575	△ 572	△ 2
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	△ 41	37
V 現金及び現金同等物の増加額(減少額(△))	△ 232	1,280	△ 1,512
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,263	2,983	1,280
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,031	4,263	△ 232

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

- 営業活動によるキャッシュ・フロー**
- \*1 税金等調整前当期純利益が増加しております。
  - \*2 関係会社が保有する固定資産の減損損失の発生により、増加しております。
  - \*3 株式および不動産投資信託の売却益の減少により、増加しております。
  - \*4 売上増に伴う売掛金の増加により、減少しております。
  - \*5 受注増に伴う仕掛品の増加により、増加しております。
  - \*6 受注増に伴う外注費の増加により、増加しております。
  - \*7 前期の下期賞与は、前々期の賞与削減により減少していた賞与を上回りましたが、当期の下期賞与は、前期並みとなったことにより、減少しております。
  - \*8 雇用調整助成金の減少により、減少しております。
  - \*9 前期の利益減少に伴い、当期の法人税等支払額が減少したことにより、増加しております。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー**
- \*10 公社債の購入増加により、減少しております。
  - \*11 公社債の満期償還が減少しております。
  - \*12 前期、社債の早期償還が発生したことにより、減少しております。
  - \*13 公社債の購入増加により、減少しております。
  - \*14 株式および不動産投資信託の売却額の減少により、減少しております。
  - \*15 前期、海外子会社の長期預金の預け替えを実施したことにより、減少しております。
  - \*16 退職従業員の保険契約の解約により、増加しております。



# Ⅲ 詳細情報

当期の経営状況と実績

翌期以降の見通し

連結財務諸表

## Ⅲ-3-4 連結株主資本等変動計算書

(金額単位:百万円<sup>(注)</sup>)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
平成23年12月1日残高	2,238	2,118	8,170	△ 652	11,875	△ 354	△ 40	△ 395	38	11,518
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 517		△ 517			-		△ 517 *1
当期純利益			128		128			-		128
自己株式の取得				△ 0	△ 0			-		△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					-	252	7	259	6	265 *2
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△ 388	△ 0	△ 388	252	7	259	6	△ 122
平成24年11月30日残高	2,238	2,118	7,782	△ 652	11,487	△ 102	△ 33	△ 135	44	11,396

\*1 1株当たりの配当金は30円、発行済株式総数は、18,287,000株(自己株式を含む。前期末時点の自己株式数は1,053,536株)であります。

\*2 その他有価証券評価差額金の内訳は、以下のとおりです。

(金額単位:百万円<sup>(注)</sup>)

	42期連結 会計年度	41期連結 会計年度	増減額
株式	2	△ 126	129
公社債投資信託	△ 8	△ 26	17
不動産投資信託	△ 90	△ 197	107
匿名組合等への出資	△ 6	△ 4	△ 2
合計	△ 102	△ 354	252

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

<http://www.jastec.co.jp>

JASTEC



- メモ -